

25/9/6 名古屋城天守閣を木造で復元し、旧町名の復活を目指す会主催講演会
最近の名古屋の街づくりと名古屋城（広沢一郎名古屋市長）

<https://www.youtube.com/watch?v=15vehb7fIqQ>

名古屋市民オンブズマンによる、半自動文字起こしアプリによる文字起こし

北見：それではですね、本日は皆様お忙しいところお越しいただきましてありがとうございます。

おかげさんで大盛況、パソコン開くたびに、さすがです。

今日は広沢市長に名古屋の歴史の復活、まちづくりというようなことでお話しいただきまして、大体30分ぐらいお話いただきまして、質問コーナーで、もう既に5人ぐらい質問で入ってます。

それぞれ話してもらって19時半ごろ、この掛け軸贈呈で記念撮影をして乾杯をして帰られます。

市長よろしく願います。

広沢：もう今年の11月下旬が私の選挙でございまして、もうかれこれ9ヶ月が過ぎましてということで、早いもので2、3ヶ月も経つともう1年という状況でございまして。本当に私にとってはあつという間での出来事だったというところ

でございましてけれども、やっぱり市長ってやってみるとなかなか大変だなと。河村さんのもとで私副市長4年やっていましたので、大体の流れはわかっていたんですけどやっぱりなってみると副市長とは段違いに仕事量も多くてですね、だからといってこの間倒れたわけではないんですけど、ちょっと2ヶ月ほど前に急にあの記者会見中にぱったりと倒れましてですね、あれも特に別に体調悪かったというわけじゃなく普通にやっていたらなんか急にぐらっと来てという、子どもがよく全校集会とかで、校長先生の話が長いと倒れるみたいなあんな感じで倒れてその後、名市大に行って、上から下まで調べてもらったんですけど、結局悪いところなかったのでもつまる場所は脱水症状。

朝からあんまり水飲んでなくて1時間経ってこうやって喋っていたら、貧血気味の脱水症状じゃないかと言われてまして、他に原因が見当たらなかったのでもつまるので、クーラーが効いた部屋でもこの熱中症とか脱水症状ってなるみたいなので、まだまだ9月に入っても暑い日が続きますので、本当に水分補給だけは私が言えたあれじゃないですけど、しっかりと取っていただきますようお願いをしたいと思います。

私一応河村さんの後継ということで市長にならしていただきましたので、河村さんのやってたことを基本的に継承してやっているという中では、こういう河村さん基本的に古いものを大切にするというそういう考えですので、この旧町

名の会の皆様方と基本的に考えが同じでございまして、私もそれを推進するべく日々やっております。

私も名古屋生まれですけど、名古屋ってのは本当に歴史的に余り古いものを大切にしていなかったなというのがよく思うところでして、特にこの町名ということで言うと確かに丸の内が丸の外に、堀の外にあって丸の内ってのは如何なものかと、丸の内って縄張りの中でしょって、それを何であそこを丸の内と付けたかという、多分東京で丸の内があったからなんか名古屋にも欲しいとかいうぐらいでやったんじゃないのかなとかね。あと名古屋には東区、北区、南区みたいな、東西南北全部揃っているんですよ。

これもあんまりそうはないんです。東西南北みたいに区の名前が揃ってる。しかも中まであってと。

ちなみに名古屋は16区ありますけれども、江戸時代からの名前を引き継いでる区、実は少ないんですよ。東西南北中とか、あとは昭和とか緑という名前もみんな戦後付けた名前ですし、16区のうち江戸時代の名前引き継いでるのっていくつあるかって、これ意外とぱっと言える方は大したもんだと思いますけど、実は5つなんです。5つ言えますかとね。

熱田は当然そうですよ、江戸時代以前から付けられた名前を区にしたところという、まずは熱田と、他に言える方いらっしゃいますか。あとは中村、尾張中村ね、秀吉が出た尾張中村なんかもそうなんです。

ここぐらいはね意外と言われりゃそうだなと思うんですけど他難しいんです。あとは千種これも実は江戸時代からあって、あとは天白と守山とこれも実はもう江戸時代から。残りはみんな最近、東西南北含め後になってつけた名前ということで、本当言うと例えば緑区なんかで言うと有松とか鳴海とかそういう由緒正しき江戸時代からの名前がありながらそれ採用しませんでしたし、他にもいくらでも名古屋城下にある区であればその由緒正しき名前をつけられたはずなのに、つけずにポンポンとやってしまったからやっぱり名古屋の戦後復興の広い道にも表れてますけど、やっぱり歴史はあんまり重視こなかったなというふうには思います。ということで今日はですね、そんな名古屋の最近のまちづくりとあとは皆様ご関心が高いであろうこの名古屋城のそれをちょっと話させていただきたいと思えます。

まず今の名古屋の現状でございまして、人口が233万人なんです。

これは実はまだ人口減少には至っていないというこのピークの状態が2019年ぐらいからずっとその233万人ぐらい続いているというそんな状況なんです。ただこれはまだ比較的いい方でして、名古屋の周辺を見てみますともう10年ぐらい前から人口減少が始まっています。なのに名古屋が何で保ってるかと言いますと、原因は二つありまして一つは、名古屋市以外から名古屋に流入してきて

いる方が多いと。この下の図を見ていただきますと例えば名古屋に入ってくる数も出ていく数も実は春日井が一番多いんですよね。

でも入ってくる数は4万2000人で、出る数は1万4000人などで、入ってくる方が圧倒的に多いんですよね。これはそれに限らずその入ってくる方、第2の一宮も3万人入ってきて、出る方はランクにないのもう丸々3万名古屋に入ってきてるので、有難いことにやはりこの名古屋の周辺の市町の方というのはできれば名古屋に住みたいという方が多いというのはこのグラフから見て取れます。なので若者が例えば大学に入るとか、あとは就職とかは結婚して家建てるとかそういう時になると、このエリアの方はできればやっぱり名古屋に住みたいと思ってる方が多い。実際にそういう方が移り住んでくることで、まず一つ人口がキープされてる。

そしてもう一つは外国人ですね。いろんな国籍の方が外国人入ってきて、それが名古屋の人口を一応キープしてるとね。今もちなみに233万人のうち10万人以上がもう外人になりまして。率にすると4%ちょっとでもこれは全国大体平均ぐらいです。大阪行くと6%を越えるぐらいの外国人がいますので、全国の都市の中では平均的で、しかも今のところ幸いにして特に外国人と日本人とのトラブルというのがこの名古屋では起きてませんので、共生がうまくいってる方だと思います。

これ最近いろんなところで大問題になって問題というかトラブルが起きるところもありまして、埼玉県川口ではクルド人でトルコ国籍のクルド人というのがちょっと騒動を起こしたりとかですね、そういうのがあるんですけど、名古屋においてはまだそういうことはないんですけど、そんだけ入ってきていながら人口は増えてないっていうことはどっかに出てくるわけなんですよね。

名古屋はそこに書いてあるように地価は東京の半値以下ぐらい安い、また海や山非常にアクセスがいいんですよね。これ関東圏にしる大阪圏にしる、名古屋が圧倒的に海や山、例えばスキーに行くとか、海水浴に行くっていうと東京だと埼玉越えて群馬県とか長野県に行かないとまともなスキー場がないうえに、比べましても東京だと。名古屋はもう1時間ちょっとすればいくらかでもスキー場があるというね。

特に東海北陸自動車道ができてからは非常に便利になりましたし、海も知多の海なんか本当に1時間も行けばいくらかもあるというそういう状況で、また仕事も豊富にあるというのもこの地区のメリットなんですけれども。なんで人口が伸びずに横並びかという、もうとにかく東京へ流出が止まってないんですよね。

これももう何十年もずっと止まってないです。出てってるのは若者若年層、中でも特に女性が出て行っている。東京ってキラキラしてるので、みんな惹かれて

いってしまうというそんな現状があります。だからここが一番、今課題ではあるんですね。若者の中でも特に女性が出て行ってるよね。

出て行ってまた5年10年経つと帰ってくる人もいますんですけども、やっぱり出る数と戻ってくる数出てったうちの何割かは出て行って、実際に東京に住んでみたものの家賃は高いし実際に住むって言ったら相当遠くに住んで通勤で疲れたとかね。そうすると名古屋って住みやすかったなっていうふうに思って、そっから転職で戻ってきたとかということはあるんですけどでも、まだまだ出ていく数が多いとこれが課題のその一つとして、早々の課題の一つの流出の補足としてはですねこれあの名古屋、東京、大阪、名古屋のこの三大都市圏のいわゆる社会増減。社会増減っていうのはいわゆる生まれた亡くなったの数ではなくて、いわゆる転勤とか進学とかで出てったり入ったりするのが社会増減ですけど、これが青が東京。東京はずっと左が社会増減数ですけども年間もう10万人ぐらいをずっと流入一方なんです。

赤が名古屋です。名古屋はかつて平成18年ぐらい、だからまだリーマン・ショックよりちょっと前ですね。あの頃は流入の方が多かったんです、社会増減ですが。このリーマン・ショックが起きて東日本大震災が起きてそっからあたりぐらいでずっと低迷してきてて今やゼロを下回ってマイナスですね。

この社会社会減になってしまったと。一方大阪はグレーなんですけど、大阪ですね。

後のリーマン・ショック前あたりまでは相当人口が流出していたんですけど、そっからこの名古屋圏が下がるのと反比例するように伸びて行って、今や直近のデータで言うと名古屋圏からは毎年1万1000人出てるんですけど、大阪は3400人プラスになってる。ただこれ外国人も多いので、必ずしも東京、名古屋から流れていってるわけではないんですけど、こんなふうに名古屋と大阪が逆転しているそんな状況が生まれてます。

確かに平成18年とか19年頃っていうのはその当時はマスコミでも大阪が非常に元気がなくて、でも名古屋は元気だとね。名古屋嬢ってなんかくるくる内巻きのお嬢さんがもてはやされたりしたのもその頃ですという状況です。

もう1個ですね、主要都市から首都圏へ、どこが首都圏東京に流出させてるのはどこだっていうことから言っても実は名古屋市は平均的ぐらいだった、平成24年ぐらい。ちょうど東日本大震災ぐらいまではそんなに多くなかったんですけど、そっからみるみる増えて今や一番東京に多く人材を輩出をしている都市になりましたというこんな状況がありますので、今の名古屋の一番の課題は東京へ若者が出て行っているのが止まらないということでございました。

次にもう一個課題がありまして、観光客がどうしても少ないっていう。これ実は名古屋市民の皆さんに聞くと、いや別に観光客なんかそう来なくてもいいよ

とね。

そう困ってない人、かえってたくさん来るといわゆるオーバーツーリズムという混んじあって、地下鉄やバスが座れなくなると嫌だから来なくていい、そういうご意見もあるんですけども、やっぱりそれなりに街が賑わってお金が落ちるもんですから行政としてはインバウンドはある程度オーバーツーリズムにならない程度は来て欲しいと願ってるんですけど、なかなか名古屋にはですね。来ないことはないんですけど、東京大阪は関東圏、関西圏に比べたらやっぱり明らかに少ないですね。

ちなみに皆さんと日本に初めてくる人がどういうルートを通るかという、元々ゴールデンルートとがありまして東京から入って東京ぐるぐる見て、そこから京都大阪へ新幹線に乗っていくわけですね。当然名古屋は素通りで、これがゴールデンルートと呼ばれておりました。

それはまだ今でもあるんですけど、今新たに新ゴールデンルートというのができまして、北陸新幹線というのが金沢まで開通をしたもんですから東京を出てですね、途中軽井沢とか長野とかその辺を寄った後金沢へ抜けて、金沢わりと人気なんです、古都金沢ね。

そこから下の白川郷とか高山へ下りて、そこから名古屋に来ずに京都大阪へ抜けていくと、これが今の新ゴールデンルートと。いずれにしろ名古屋には寄っていただけないとこんな状況があります。

これも分析を色々したんですけど、そもそもで言うと名古屋第3の都市圏なんですよね。

第3の都市圏っていうのは世界的に見てちょっとこういう観光、特にインバウンドね。

海外から見たときには非常に不利なポジションになります。やっぱり都市としての魅力だったら、やっぱり一番でかいところ。要は東京ね行けば十分だし若しくは2番目の大阪ぐらいで十分だし、3番目の都市に行く理由は何っていうと、もうそこに何かがないと行かないんですね。

ちなみにアメリカで3番目の都市って言われてぱっと、クイズじゃないですけど言える方って意外に少ないですよ。1番ニューヨーク、2番ロサンゼルス、3番はどこでしょう。(シカゴ)

さすがです、シカゴなんですよ。シカゴってぱっと言える方はなかなか少ないですよ。

あれボストンだったかなとかね。シアトルだったかなとかね。

いろいろ名前出んですけどシカゴなんですよ。

だけどそう言われてみると日本からアメリカに観光に行くのにそうだしシカゴいこうってふっとなるか、なるかというとなまず余りならないですよ。実際にシ

カゴって観光都市ランキングというのがあるんですけども全然トップ 100 にも入らないぐらいなんですよ。

ちなみにアメリカでいうとニューヨークロサンゼルスは入るんですけども、それから次はラスベガスとかねマイアミとかハワイとかもそういうところに行くんです。なのでそれを日本に当てはめると、東京大阪まで来るんですけど、次に行くっていうともう福岡とか札幌とかそっちになるんですよね。

ちなみに名古屋で統計とりまして、名古屋に来てるインバウンドの方にアンケートをとって、日本何回目ですかって聞いて一応 5 択なんです。1 回目 2 回目 3 回目 4 回目 5 回目以降という、圧倒的に多いのが 5 回目以降とね。つまり名古屋は 5 回目以降にして初めて来る。5 回もリピートしてくる人って、相当日本好きな方なんですよね。

普通だったら日本に 3 回来たら次はもうちょっと別のところに行こうって、わざわざ飛行機代払っていくんだからとなるんですけど、やっぱり中には日本大好きってとなって、もっと他のところないっていう方によく選ばれるとそんな感じ。でまたアンケートの中に、名古屋は何回目ですかって聞くと圧倒的に多いのは初めてとね 5 回目にして初めて来て、しかも初めて来ると、しかも名古屋のリピーターにはなかなかないというのがこれが現状でございます。

ちなみにイギリスの 3 番目の都市っていうのを言える方いらっしゃいますか。一番目ロンドン、2 番目ですら怪しんです。2 番目はバーミンガム、3 番目グラスゴーこうなると、グラスゴーってどこやねんっていうぐらい。フランスもこれなかなか難しくて一番目パリ 2 番目がですね、マルセイユだったか、2 番目も怪しい。3 番目リオンって、もうここはどこにあるかわかんないぐらいになってきますよ。

そんな形で 3 番目の都市など絶対的に観光面では不利なんですよね。なのでそこに何かないといかないということなので、何かを作っていくというのがこれからの課題でございまして。

ちなみに一応ご参考までにですね、今後のこの名古屋の街がどうなっていくかというのは、まず一つは栄です、まず右側の中日ビルできました。そして今度、ザ・ランドマークというのができまして上にコンラッドホテルという高級なホテル、これヒルトン系の上位ブランドというコンラッドというのが入りますし、下に TOHO シネマーズというシネコンです。いよいよ栄でも映画が見れるようになります。

ですし、その下はですね、いわゆるブランド街が入るとルイ・ヴィトンが入ったり、なんかいろんな今点在してるやつがそこにドーンと集まって超ブランドショップが下の方に入ってかなり華やかになる予定でございます。

一応予定ではその手前の三越も将来的には建て替わるやに聞いてるんですけど、

なかなか若干難航しているという。あとは昔、国際ホテルがあった一角も今ちよっと駐車場になってますけど、のどころとか。元丸栄、今丸栄ガレリアという形でちょっと仮設的になってるところとかにも、再開発、おそらくいずれは来るであろうと言われております。

それと久屋大通り公園もですね、今のテレビ塔から北側はもう既にもう6、7年前ですかね。

やり直しまして、5年ぐらい前ですかね。やり直して新しくなりましたが、南の方を始めていく予定です。これまだ全て計画できてるわけではないんですけど、これも今からやっていくという予定でございます。

そしてまた名駅もリニアが来ますので大きく変わっていきまして、左側は東口ですよあのロータリーがあって昔あの飛翔というぐるぐるがあって、ぐるぐる取りましたけど、ぐるぐる取ったところまでいわゆる歩道部分を延ばすということをやったあの交差点はぐるぐる巻きのロータリーではなく三差路の交差点にいたします。それでそこまで徒歩で来てそこが広場としてですね名古屋の名古屋駅の顔になってくというそんな予定です。

右側、西口ですね。西口もリニア、そっちからも出るもんですからここもやりかえてちょっとあの雲のような形のひさしを並べて賑わいを出していこうという。

そしてまた、その渡ったところのビックカメラとかあの辺も再開発を執行できるといいんですけど、なかなかあの辺は民有地で今ところまだ主だった再開発というのは予定はされてない状況です。ちなみにあと金山これはね大きく変わってきます。市民会館が近々、近々といってもまだ5、6年先なんですけど建て替え予定でして、それで手前のアスナルという商業施設ですね、これも建て替えの予定ですので、金山を駅を出ると今の市民会館はあちらの天津通り沿いから行きますけど、今度は導線的に駅を出るとそのままアスナルを抜けてそのままちょっと一部道路を廃道にしてそのまますぐ新しい市民会館に行けるようにというにと。なおこれ新しい市民会館で一応予想図ですけどこれ金山の駅をアスナルを抜けていくとこういうのが見えてくるとこんな予定でございませう。

もう一つですね SRT という 2 両連結のベンツ製の黒いバスが名駅、栄間をぐるぐるぐるこれ観光バスの存在ですけどかっこいいのでちょっと乗ってみようかなと思うようなものですね。

今だと名駅栄間は東山線で行き来をしてましたけど、やっぱそれだと地下なので上の様子が見れないということでこれは車窓を楽しみながら、名駅栄間を行き来していただくというものでございませう。

このように名駅栄そして金山のこのあたりを中心に名古屋がこれから変わって

いくというところでございます。

その他にもイベントというものもたくさんありまして、来年はアジア大会・アジアパラ大会というのがありますし、それに伴ってもう既に立ち上がりましたこのIGアリーナ。愛知県の新しい体育館、そして瑞穂の競技場も新しく来年には出来上がりますし、その国際会議場ですとか外周路の改修もこれも来年再来年に向けていくと、そしてアジア大会の翌年の27年にはアジア開発銀行というADBというこの年次総会、これもあまり耳馴染みない方多いかもしれませんが、結構大きいイベントになりますので、かなりの各国から要人が来るサミットまではいかないですが、その次ぐらいには位置できる大きなイベントとなります。

そしてなんといっても名古屋城の天守木造復元ね。そしてリニアの新幹線開通となっていくわけでございますけど、そこで名古屋城でございますけど、まずトピックスとしては今年の11月にこの本丸外を無料で公開をすると、これやっていきます。

つまり御深井丸、西の丸、二の丸ここはただで入れると。今までは東門と西門で区切ってましたので入れなかったんですけど、これからは多分この11月の実施実験では本丸以外はただで入れると。さらにですね来年もう1回実験しまして、今度は本丸も無料に入れるようにして、今ですと建物でいうと本丸御殿のみを有料にするというのを1回やってみよう。その二つの違いというのは本丸と書いてあるあの時のあたりですよ。つまり天守の前あたりそこが一番のフォトスポットになっていますので、そこを無料にした方がいいか、やっぱそこは出さずにね、本丸を有料にした方がいいかと。これをちょっと実験でやってみよう、いずれにしろですねそれをやってうまくいったらつまりは好評だったら、好評でしかもそんなに減収にならなかったら、これやると増収になるが減収になるかといったら普通は減収になるんですね。

なぜかという今この菊の展示とかを西の丸とかで秋にやるんですけど、菊を見るためだけでも入場料を取ってる、御深井丸ところの茶室に行く、今日はお茶会があるっていうとその方々にもみんな入場料払っていただいてまして、もっと言うと事前の前日の準備とかのためにもわざわざ払っていただいてそういうのが払わなくてよくなるのでそこが減収になります。

ただそれを上回るだけのこれなかなかいいなっていうご好評であれば、近い将来ですねもうこういう二の丸そして要は本丸以外にもしくは本丸御殿以外、これ天守が木造になったら当然そこも有料になりますけど一部だけ有料にて無料開放にしていこうかなど。なんですかと申しますと、ごめんなさい。

トピックスもう1個、来年の10月になりますけれどもこのお堀にちょっと船を浮かべると。この船は一応参考までに海で使ってるちょっと高級鵜飼船という

最近ちょっと昔よりも高級になりました。ちょっと見づらいですけど座布団に座るのではなくてソファに座るような、あぐらをかかなくていいというそういうふうで、それプラス机とね、テーブルとソファというそういう設えで、なかなか私も 1 回見に行きましたけど、高級感があってなかなかいい。こういうので要はキャッスルの前ぐらいから出てでキャッスルの前、もうちょっと南ですねその辺りから出て、ぐるっと行って戻ってくるそういうこの舟運というのを予定しております。

もう 1 回話が二の丸に戻りますけど、二の丸というのはですね、これか川地先生からご提供いただいたの図でございます。左側に丸というのはオレンジ色で、左側のオレンジ色で囲まれたところがあれが江戸期の二の丸でございます、真ん中にあるのが二の丸御殿で、これ本丸の 3 倍の大きさがありますので極めて大きいんですね。

右側が現状でございますけど、今は明治にこの二の丸は明治 6 年に陸軍が使うといって歩兵第 6 連隊が置かれるということで、二の丸御殿は全部破却になりましたですね、そこに陸軍が置かれた。戦後それがなくなりまして、一部は庭園、一部は二の丸広場そして下半分ぐらいは愛知県体育館になったということでございます。そして、この度この愛知県体育館の青いところですね。

二の丸と書いてあるところ。青い愛知県体育館が新しい IG アリーナという方に移りましたので、これ来年のアジア大会までは使えます。でもその後はもう使わなくなるので予定ではこれはそのまま取り壊しまして更地になっていくと、そうなることですね今のその青いこの県体育館の上に堀があってですね要はそこで有料エリアと無料エリアは分かれてるんですけど、その本丸だけを有料にして、残りを無料にするともうその堀もいらなくなるのでそれを取っ払うことですね、左側にある元の二の丸のこのエリアが全部更地のような状態になるんですね。

ただいろいろとやはり文化庁の多分ご指導が入って、まずは取り壊すときにいろんな発掘調査とか、特別史跡ですのでいろいろとそう簡単にはいかないんですけど、まずは更地になるところまではここがほぼ既定路線です。

更地になったらどうするかっていうと、簡単なのは更地になったんでそのままイベントとかをやるって何とんでも無料になるのでそこでいろんなイベントをやればきやすくなるので、そこで賑わいを出すというのもあるんですけど、できればですね。これ二の丸御殿の図ね。極めて広大なんですね。

やはり本丸の 3 倍あるというだけあって、ちなみに今お庭がああいうふうに、右はちょっとこの欠けた状態になってるんですけど、陸軍になってから南側にもちょっと庭を作りますと、今、割と四角の大奥のあたりで、あのあたりまでちょっと庭がはみ出しているという状態ではあるんですけど、それを除いても

ですね極めて大きいところこれを何とか復元できないもんかなと、ちなみに川地先生が作っていただいたCGだとかこういう大変立派な左側に本丸も見えておりますけどもこれが二の丸ですので、何とか文化庁の求めるレベルには復元、復元的整備とこういうふうに分かれてまして、復元は天守は復元でやります。これあの豊富な資料が残ってるので江戸時代のものをそのまま再現できるというのでこれは復元目指すと。

ただこちらはいろいろ各種の写真とかですね残ってるんですけど、天守ほどいわゆる近代測量による図面が残ってるっていうところまではないので、完全復元は難しいので、復元的整備でこのような形にして、さすがに本丸のようにここだけ見るための施設というよりも、やはりここにはホテルとかですね飲食とかを入れるぐらいの広大なスペースがあるので、そのようにしてできればここで一度サミットぐらいを呼びたいなというような意気込みでやっていきたいなと。

まだこれはね全然文化庁に認められたはずでも何でもないので本当にそれが認められたとか、あれですけどこの名古屋城というのは基本的には江戸期に極力戻していく。

少なくとも本丸はまず本物性を求めて太鼓櫓であるとか、失われた北東の櫓であるとかこの辺はまず必須として復元をしていって、そしてそこはもう復元であって、この二の丸は復元的整備である程度に賑わいも重視をしながらやっていって、やはり往時の姿を忍べるぐらいのやっぱり名古屋のってすごいし、すごいんだと、入ってからもこんなに広いんだというのを観にきた方に味わっていただけのようにしたいなとというふうに考えておりますというところで私の話としましては、名古屋の今の置かれた現状、そして名古屋城を今後このようにしていきたいというちょっとお話でございましたのでよろしく願います。ご清聴ありがとうございました。

北見：私から質問が二つありますね。

名古屋城天守閣の木造復元ってどこまで進んでいるのかという質問と、昔の旧町名についてどうされるのか、その2つお願いします。

広沢：まずですね、名古屋城の木造復元についてはですね、これちょっと残念ながら2年前に差別事案になるものがありまして、一般の方のご意見を聞かれてその一般の方どうしてちょっと差別発言があってそれをちょっと市がうまく止められなかったという事案がございまして、その反省をするというのをちょっと今までやっておりまして、どうやったらああいう事案が起きないようにできるかというそれをやっております。

それをこの度ですねその総括が終わり、今度はこれからこういうふうに行っていきますっていうのをその障害者団体の方にもご説明をして、ここでようやくこの2年間の差別事件が起きる前までにスタートの状態までに戻り、今からやっていくとそんなところです。

焦点となるのはやはりあのその差別事案の起きたときもそうだったんですけど、いわゆる昇降設備をどうするか、ここに焦点が当たるわけです。

これに関してはでいわゆるエレベーター、エレベーターというのはめちゃくちゃ小さいやつから大きいやつまであるんですけど、バリアフリー法ではサイズが決まってましてそれは割と大きいんですね。

電動車椅子プラス介助者とかで入れるようなそれを設置しようと思うとどうやってもこの天守には梁柱を削らないと入らない、もうそれは勘弁してくださいというこれそれやるともう本物でなくなりますと、その代わりもっと小型昇降機というしかもそれ可逆性なのでもっといいのが出たら取り外せるというそういう小型の昇降機というワンフロアだけ油圧とかですっと上げてくやつ。

これをつけて車椅子でも上がれるようにしましょうとこの方針はもう前から決まってまして、問題はそれをどこまで付けるかと私一応お約束ですね。

江戸情緒損なわない限りの上層階を目指しますこのように言ってまして、要はそこにどんとあるところちょっと雰囲気台無しだになってというようなそういう状態はさすがによくない。

これは別に障害の有無に関わらず、ちょっとここに江戸時代はこれはさすがにこんなのないよねっていうようなのがボンとあると、せっかく見に来たのにその情緒が損なわれるという状態は避けたいのでそうならないようにと、城はご承知の通りだんだん上に行くと狭くなりますので、5層なんか相当狭いね。

そこにそれが来ていいかどうかそういうような観点で見て行って最終的に来年のどこかぐらいかでは、このぐらいの階で行かせていただきたいというのを障害者団体の方にもお示しして、その他の方もこれでいきましょうと。だからみんなでこれでね、名古屋城いいものにしましょうと言えるところを探りながら来年いっぱいかけてやって行って、そこである意味合意といいますかねこれでいこうというふうになったら、そしたらそっから文化庁へ出して、そこで復元が認められれば、あとは四、五年で建ちますので、なのでいつぐらいだっって言われるとなかなかこうだとは言えないですけど、あと2年ぐらい先には文化庁に許可を取りに行き、そこで一発でOKが出ればそこから4、5年なんてトータルすると6、7年とかですねそんなぐらい少なくとも、リニアが10年かかりますが、リニアの前までにはと思っています。これが一つ目です。

旧町名は私も先ほど言いましたように、よく名古屋は昔の名前をなかなか守ってこなかったというのはこれ事実でして、それはできる限りで往時を取り戻し

てるのか大事なことだと思っております。

私も一応事前にこちら出さしていただく前にですねちょっといろんな局に事情を聞いてみたんですけど、やはり城もそうなんですけど、昔のものを元に戻すっていう場合にはやっぱり本物性が大事ですと。本物性が大事だってなると、例えば長者町を元に戻すっていうと、長者町のエリアっていうと、昔でいうとちょっとむにゃむにゃとあって、その通りの家ごとで定められたのでこうなるとこれを今に当てはめるともう当然家が変わっちゃっているの難しい、じゃって言って長者町通りの両サイドを長者町って変えるかっていうとそうするといわゆる本物性が損なわれるという。こんなところにこういうところにもなかなか難しさがあるという説明ですね。なかなかそういう課題が多いという中でどうやっていこうかとね。

本当言うと丸の内だって本当に丸の内って名前が全然正しくないのやめたいところなんですけど、しかももうこれ結構馴染んじゃっていると。丸の内のマンションに住んでいますっていうのが何か一つのステイタスになったりとかっていような人にとってこれ丸の内から変えますよという丸の内じゃないからってっていうとですね、いやそれはちょっと困るということにもなって、なかなか地名ってのは地名とか、場所の名前っていうのは変えるのも大変なんですけど、変えたら変えた方で馴染んじゃうと、これまたさらに変えるのにまた難しさがあるというのも確かなので、このあたりは一番いいのはこの地元がダーッと盛り上がってこの通りを、この地区はもうこれ錦何丁目、もしくは丸の内何丁目からこれ外してくれと、元のこの名前で行きたいんだっていうのがダーッと沸き起こってくると、それにお答えをするという形で行政が動くということはあるので、そういうある意味の合意形成ですよ、しかもそ例えば錦とか丸の内からここの地区だけこれ外れるのがいいかどうかっていうと、他の錦や丸の内の方にも一応意見聞かなきゃいけないとかいうこともあるので、本当にこのね合意形成ってのはなかなか難しいんですよ。という難しさがあるということなんですけど、こうすれば必ずうまくいくっていう道は特にはないんですけど、やっぱり地元から声を上げていただくというのが一番正攻法なのかなと思っています。

辻：堀川文化を伝える会の辻でございます。

もう一つ後藤新平の風を3年前に立ち上げてそちらの理事をやっています。

名古屋の街中の碁盤割とかね。あの辺りがガイドやっているんですがここに看板があるはずだという。

最近調べましたら、ここ30年で40ヶ所ぐらい欠落しちゃってるっていう事実がありまして、減ったということで減っちゃって。

事情はちょっと正確にはわからないんですが、多分私有地だとビルを建て替えるときにどけるという。

その後、建て替えた後に戻してないという方ではないかなと思ったんですけどね。

細かいのはリストを挙げてありますけど。

これは別途担当部局とやりますけど、例えばですね一番困ってる例ではですね。

葛飾北斎は名古屋で北斎漫画作ったんですよ。

最初の方はそのときに牧墨僊というお屋敷にいて、牧墨僊はどこか、ラシック、出版元が永楽屋さんということで江戸でも今話題になってる。永楽屋とってですが今は錦のビルのあたり。

ということで、今ほとんどそういうものが何もなくなっちゃったんですけど、我々がガイドするとき非常に困るし、国内外から来られる方にもね、ここに名古屋のねちょっと言葉がでてこない、そこにそういうのがあったというのがわかんなくなるのは特に素晴らしい。

確かに国内から有名な方ほど観光客にという話にもなりますし。その復元を含めてですね。

新たな追加も含めていろいろと今まとめてますんで、またぜひご検討いただきたいというところでございます。

広沢：一応あの看板今日の名古屋市教育委員会って書いてあるような看板一応あの文化行政を教育委員会が担うということになっています。文化というか歴史系ですね。

あれは教育委員会の担当だということで、教育委員会名の看板があるのとあとは観光面で名古屋市が設置する二つあるんですけど、確かにおっしゃる通り私有地になるとなかなか勝手に設置ができないというそういう制約がありまして、元あったんだけどもちょっと取り壊してもこれが外すと言われるとなかなか建ててくれと言えなくて外すんで。近隣に例えば公園があったりとか、道路で建てられるところを移すんです。一応移す努力はしてでも移せないと思うようなものはないと思うそういうのはあると聞いてますけれども極力やっぱりそうですね。特に由緒正しきものは残すようにしたいと思いますので、どっか場所ないかとか。民地あっても許可していただければいいんで、そういう働きかけをしていくかという感じかなあと思います。

辻：それと、観光面ねもうちょっと今の風の技術、写真、そういったものをせっかく作るなら考えていただきたいとそこ含めて考えていただければという思いがあります。

広沢：わかりました。承知しました。

発言者：何か皆さん、ご縁のありそうな皆さんばかりでおいでいただきありがとうございます。

先日、テレビ塔の大澤社長のご縁で京都芸術大学の通信部を誘致しようというお話があったんですね。そうしましたら、大澤社長から東照宮祭を復活できんのだろうかというお話もありまして。

それでちょっと一枚にまとめてきたんですが、それからまず豊国神社、東照宮、八幡社、それから万松寺、興正寺、建中寺の住職や神主で皆さんが参加していただけるように、参加するという主体で動いていただけるようなご協力をいただけることになっているそうで、また皆さん伝統文化、歴史を伝承するということにご縁のある皆さんばかりなんで、大澤社長は、戦災復興のシンボルであるテレビ塔と伊勢大通りをメインに、もっと盛んにしたいと、何か日本政策銀行の施策資料みたら名古屋だけはちょっと落ち込んでるということですね。そこで新しい祭りを作れないかというのもう一つは、この話の中で辰巳満次郎さんですね。

辰巳能の辰巳満次郎さんがどうせやるなら、4月16、17の東照宮祭だけじゃなくて、名古屋大茶会をやったらどうということ、徳川園さんが秋には茶会をやってらっしゃいます。

春の3月3日の雛祭りから4月15日まで名古屋の大茶会ということで、名古屋中の茶室がいっぱいありますので、そういった茶室を利用して大茶会を開催したいと、この二つのお祭りをやりたいということで仙谷先生に書いていただきまして、皆さん今力を合わせてやろうということ、動いておりますので、また皆さんのご協力をいただければありがたいなと思っております。よろしく願いいたします。

広沢：大変貴重なご提案いただきました。

名古屋非常に由緒正しく寺がたくさんあるのはもう皆様ご承知の通りかと思えます。ただ実際に光が当たってないというのも確かです、ただこれがなかなかちょっと固いことを言うと政教分離の観点があつてなかなかそれを直接的にお金を打つてというのは、難しいのはあるんですけどもただこれやっぱり史跡というのは、そういう立看とかですね、その後押しとかはできますので行政でやれる範囲のことをやっていきたいと思えます。

発言者：すいません。質問をさせていただきます。

私は二つ質問を用意してたんですが、その一つはさっきも市長さんからお話いただきましたので、というのは旧の県体育館、来年アジア大会終了後に解体された後ですね市として二の丸復元整備はどう取り組まれるのかというふうにお聞きしようと思ったんですが、もう思いの丈を話していただいたんで、全くもう回答いただきました。もう一つ西の丸の名古屋城宝館がありまして、ここ数年前にできて私も時々お伺いするんですが、ちょっと申し訳ないんですが、手狭感っていうか感じておりまして、あそこは旧三の蔵、四の蔵を利用されているわけですが増築しようとする、古い場所ではあそこは特別史跡の場所ですからできないんで、五番蔵とか六番蔵のところを増築して大きくすることなのか、そういうご計画があるのか、いずれにしても天守閣に残存する展示物も含めてですね。徳川園にも相当な量のものがあるんで、それをできるだけ公開するという意味では、もう少し大きな展示スペースが必要かなというふうに思いまして、そのあたりのことを市長はどのようにお考えなのかお聞きしたい。

広沢：名古屋城はご承知の通り、これまでは従来の名古屋城の天守のコンクリ天守の中にいろんな展示スペースがありまして、それをこれからも木造でやり直していく。あの展示スペースがまるっとなくなるということで、それはちょっと五番六番だけではさらにちょっと足りない状況です。もっともっと大きいのが必要ですので、そのためには今の金シャチ横丁の義直ゾーンつまり正門出てすぐのところですね。

観光バスとか止まる向い側、あそこのさらに南にですね、今の農政の国の出先機関があるんですけどそこをですね返していただいて、そこに博物館を建てようと名古屋城博物館それは相当大きい施設になる予定で、そこで何とかスペースを確保して、そこに主な収蔵品は収めていこうかなという予定でございます。なので今んところ五番六番やる予定はないんですけどその名古屋城、仮称名古屋城博物館で相当なスペースが取れますので名古屋城来られた方はできればあのエリアで、現天守や御殿も見ていただくんですけど、そのいろんな収蔵物そこをぜひ見ていただきたいなど。できればそこでワンストップで見ていただきたいので、今だと逢左文庫とか徳川美術館さんもちょうと離れているんですけども、何とか連携して1ヶ所で見れないかなというふうなちょっとそういうことを考えております。

伊藤：伊藤悟と申します。今は樹木医ということと、横井也有の研修会っていう代表をしております。

元名古屋市職員をしておりましたので、例えば徳川園を作る現在のよう形

に作るプロジェクトも担当してましたし、それから今日お話しいただきました二の丸庭園を復元する仕事もしておりましたし、あと東山植物園長もしておりましたけども、それで今日はですね、質問というかご意見というせっかくのチャンスをいただきました。すいません。

名古屋城のことです。名古屋城とか名城公園とか言われていますけども見るたびに範囲が違うんです。写真で空から見れば何となく名古屋城わかるんですけどね。

こういう案内図もあるんですけど、名古屋城名城公園マップとかあるんですけどね。

何申し上げたいかっていうと、外堀が入ってるということです。

ところが今日も名古屋城に行ってきましたけど、外堀なしで特別史跡名古屋城って案内を出してるんですね。(なわばり全体を出すべきだと) 特別史跡って言ったら外堀までが名古屋城の区域なんで。外堀から中は名古屋城の区域だと私は思うんですけど。(その通りです。) ぜひとも外堀を大事にしていだけないかなと思うのと、現況は外堀は区ごとにズタズタに管理事務所分かれてまして、西区の土木事務所だったり、中区の土木事務所だったり、北区の土木事務所、同じ外堀ですので、ぜひ管理を一本化した方が正常になるんじゃないかなと思います。

それで国の文化庁の話いくつか今日何度も出てきましたけど、この赤で塗ったところが名古屋城特別史跡になっているという。だから明らかに外堀まで入っております。

今後、名古屋城を確固たる名古屋城として整備していくといいと思うんですけども、どこの範囲までを、名古屋城として整備していくかという長期的なビジョンをぜひともまとめて、極端な話外堀から中から全部名古屋城に将来するんだと。

例えば官庁街はどこかへ集中移転するとか将来、そこまで含めてぜひ長期ビジョンをとるというふうに思います。今日先ほど言いましたように今、名古屋城といっているのは外堀なしの区域だけを名古屋城というふうに特別史跡に入れてますからね。ちょっと事実と違っております。(そうですね。) それから今日市長さんからお話ありましたように二の丸ですね。

二の丸はこういう素晴らしい図面が残ってますので、二の丸御殿というもうとんでもない御殿があって、それに付随する庭園が二の丸庭園ということで、文化庁の方が二の丸庭園は全国のお殿様がお城に住んでましたけど、全国のお城に住んでる殿様たちのお庭比較すると規模は日本一だそうです。

ですから二の丸庭園を完全に復元すれば、日本一の大名の暮らした場所の庭園ということで復元が完成したら特別名勝にしてあげるとのことまで言葉まで

いただいておりますのです。

ところがなかなか進まない状態です。(ちゃくちゃやってる)

それで最後の図面これですけど、これが二の丸庭園だけの図面ですけど、私持ってきたこの図面はものすごくちっちゃいです。実物は徳川美術館と逢左文庫と二枚あるんです。

大きさが縦横4m、4m50の大きさの和紙に描いて色まで塗ったお庭だけの庭園の図面があるんで、それを文化庁の人がこれは本物かなということで、現地行って二の丸を掘るとこの飛び石の遺構がその下から出てくるんですよ。殿様が歩いた飛び石も全部残ってます。

二の丸庭園がいかに素晴らしいかと、この地を代表する庭園かっていうこと。数えたら庭園内に、二の丸庭園で茶席は6件。灯籠は178本、手水鉢が130という規模です。どのぐらいの規模か想像つかないんですよ。皆様のお宅にも手水鉢の三つや四つ。申し上げたい最後になりましたけど、今のように二の丸御殿、全国からの大名将軍様おもてなしてできるような装置があってその最たるものが、能舞台が二つもあったというのは二の丸御殿ということです。能舞台っていう能楽堂を作っちゃいましたから、私はもう能舞台は作らなくていいと思うんですけど、ぜひ先ほど市長おっしゃったように、二の丸御殿は外観の写真がありますので、ぜひとも外観は忠実に再現していただいて、中は先ほどおっしゃった通りです。

ホテルの機能です。宿泊できてパーティができるようなものを市の税金を使わずに、ぜひ民間の投資でそれを誘致していただくのが市長さんの仕事なんですよ、いうふうに私は庭園の復元をしながらそう思ってたんです。

それで最後の最後、文化庁という役所とやり合わないといけないんです。

厳格に元通りにしないとダメ、ところがお金は殆どくれません。

ところがいいことに最初に言いましたように名城公園という区域にもなっているんです。

名城公園という区域になってますと国土交通省からお金がいっぱい出そうな、そういうルートがあるんですね。ですからその辺を上手に使ってですね、両方とも上手に使ってですね、ぜひとも事業を推進をしていただきたいんですけど、それをやるためにはですね今の縦割りの行政は大変ですから、管理面と整備面を一本化して、ぜひとも名古屋城のお城局長ですね。お城局長という体制を作って徳川家康が名古屋城を命令したかのよう、市長さんがお城局長に命ずるればいいんです。

そうすれば全て整備から維持管理にまで一本化できるということで、できたら離れのようになってます徳川園も含めてですね、武家文化、名古屋から武家文化を世界に発信できるようにするには、そういう体制を作っていただければいい

いんじゃないかなというふうに思われます。

広沢：局長というのは俗に言う係長、課長、部長、局長と一番最高のポストとして、一応数に限りがありましてですね、1個作るとどっか減らさなきゃいけないってこういうルールがあります。名古屋城の局長作るとどこを減らすんだろうなとちょっとねいろいろ考えてる。ありがとうございました。

発言者：私から、私は名城さくらの会で名古屋城の周りに桜を移植をしてます。発端はですね。河村市長と一緒に名古屋城のツアーをやったときに名古屋城の記者が非常にしょぼいここに桜を植えたいけどどうですかっていうご提案したら、「わしが言うと議会が反発する地元が声上げてちょ」というご助言をいただいでですね。

西区の地元の皆さんと一緒に立ち上げて、それで緑政土木と話をしてこの桜を植えるこの名城さくらの会というのは発足しました。それで順調に進んで250本植えてるんですが、それを踏まえてですね。

ここにいらっしゃる川地先生とかいろんな方に勉強させていただいて、更なる提言ということでちょっとまとめてきました。

一点は当然市長も現在の名城公園が下御深井庭という大庭園だったことご存じですよ。この規模は今の名城公園の2.7倍、兼六園の5倍でしたか、それぐらいの規模で広大な蓮池があってその周りには桂離宮さながらの三つの数寄屋造りの茶室があったり、それから藩の御用窯である御深井窯、それから尾張藩の東京の下屋敷の戸山荘さながらの宿場町とか門前町とか、それから薬草園だとか田んぼだとかあって藩主や藩主の家族の休息場であったり接待の場であったということもご存知ですね。

(でかいっていうのは知ってましたけど。細かい機能は知りませんでした。)

という公園だったんですね。ぜひ二の丸庭園を復活させようと思うと、文化庁とのやり取りで、きっと気の遠くなるような時間がかかると思うんですが、この名城公園側は練兵場でくちゃくちゃにしてるんでぱっと作れるだろうと。徳川園が戦後あそこ野球場だったり児童公園だったし、白鳥庭園は牧場だったところがあるんで意外に早く、工事費も非常に少なくできたというところを踏まえると、名城公園のお堀に近いエリアの一角が、昔、東海銀行がお金を出して東海の森というふうで今でも碑がたってますけれど、雑木林があるんですね。ですからそこを再開発して、名城公園全部はIGアリーナだったりいろいろあるんで無理なんですけど、この赤で囲ったエリアだけでしたら、いろんな調整も少ないでしょうし工費的にも意外と安くできるんじゃないかということをお川地先生とかいろんな方からもお伺いしてちょっとまとめたものです。ぜひ木造復元

も天守閣も多分結構かかるでしょうし、二の丸庭園も気の遠くなるような期間（結構かかりますよね。）そのことを考えるとこれはあっという間にできるんじゃないかな。（そうですね。）

それからもう一点はその前、復元しようとして私が考えてるエリアからずっとキャッスルの方はお堀がすごい綺麗ですよね。（そうですね。）あそこは一番のビュースポット、水があって石垣があって天守閣があって。

清州櫓があるということで最高のビュースポットになるはずなのに、非常に極めて大変残念な現状です。どういうことかということこの歩道、赤で書いた歩道、キャッスルの前からずっと御深井お庭作りたいなと思っているエリア、ずっと歩道でお堀を眺めながら行けるんですが、天守閣はほとんど見えないんですね。

広沢：そうですね。これはですね、今ちょっと木を伐採はなかなか文化庁が認めてくれないんで剪定ということでちょっと下げていこうかという（ぜひあの天守閣が見えるように）そうですねこれはねできればどんどん徐々に徐々に剪定を繰り返して行って、江戸時代初期なんかもう当然相当低いわけなので、できればこの櫓の何階ぐらいまで以上を伸ばさないとかですね、当然これ多門櫓つくればこれ全部なくなるわけなのでそうそういう復元をまじえながらとかですね、文化庁にいうと、なかなかちょっと渋いこと言うんですけども。でもちゃんとした植栽の計画を立てて出すと認められることもあるという。

発言者：キャッスルの前からずっと歩道があるんですがこの右上の写真見ると、人が2人たつと、狭いですよね。だから、その北側も右下の写真にあるように無用に広い車道20mあるんですよ。両側に歩道があるんですが、大して通らないんですよ。青空駐車場になってます。

ですからぜひ歩道を広げて歩きやすくしていただきたいなと。それとこのエリアは飲食店がないんで、多分住居専用地域なのか網がかかっているんですかね。

広沢：どうですかね。喫茶店とかはあった気がするんですが（昔からの喫茶が一軒あります。）

あんまりこっちまで食べに来ないということなのか、

発言者：ですけど今度キャッスルができて、その御深井お庭再現してですね、こちら圧倒的に景色いいんですねもし天守閣がみえたら。そしたらゆっくり回遊できるようになると絶対のくつろげるカフェだとかゆっくりできる食事の需要が出てくると思うんですね。

ですからそういう再開発そういうことができるような政策、それでここのお堀

は船をとということなんですよね。ですから総合的にぜひお願いしたい。あとはここに書いてあります。ごらんください

広沢：いろいろとご意見いただきました。

御深井のお庭のこちらの復元これ両サイドをまた水を入れてというそういうことですよ。

これは一応名古屋市にもいろんな部会がありまして、庭園部会に諮るか何かで、そこでそれは面白いとなったらそれはなるかもしれませんので、1回ちょっと聞いてみます。

歩道はなかなかこれ、キャッスルの北側のところは一方通行ですし、そんなに広げる余地があるかどうかちょっとこれがまたあれですよ、幹線の北側、創価学会とかであそこはいくらでも余地はあるんですけど、キャッスルに近くなればなるほどなかなか狭いんですよ。すぐ向かいには住居があるしというところで広げる余地があるかどうかってのはなかなかちょっとあれかなというので、お堀に出していいかどうかこれはちょっと、ちょっとこれは文化庁に聞いてみないとわからないですね。仮設で例えばいつ外すって決めてればいいんですけど、多分仮設だといつ外すんですかとかいうことにもなるので、なかなかちょっとそれに難しさがあるのかなという。

ただそれやるとあの周り結構周遊したいという人もいるので車で。なかなかそこを禁じるのは厳しいかなと。北側の青空駐車もあれはあれで貴重な駐車場として皆さんが使うので、無くすっていうとまた反発もあるかなとかね。なかなか名古屋城ね。そもそも名古屋城に駐車場が少ないのもいけないんですけど、土日になるともうすぐに駐車場もいっぱいになって、城の周り結構路駐OKなので、みんなそこに停めて城行ったり名城公園行ったりという、この機能もなかなか愛されている機能なので、これはなかなかねという両側停めれなくてもまあいいかなというところはあるんですけど、今IGアリーナの北側も今まで路駐できたのが、IGアリーナができたので、できなくなったんですよ。なのでその分一部路駐が減って、今お堀の北側がメインになっていますけど、公園に来た人はあそこに停めたがるんですよ。

だからそういう利便性も一応一定は配慮しなきゃいけないというところがあって、またしっかり検討します。

発言者：今日は貴重なお話ありがとうございました。2つ質問します。

1つ質問といいますか、昇降機をつける可能性が高いというお話なんですけど、世界遺産としてもですね、認められる条件としてのギリギリのライン、どこら辺なのかちゃんと検討されてるのかなというのが非常に気になっております。

やはりインバウンドを招き入れるには世界遺産という視点も非常に私は重要だと思っております。500億円もかけて天守閣を作るからには世界的な基準から見ればこれは復元的整備ではなくて復元であるというふうに認められることが非常に大事だと思っております。その点ご教示いただければとおもいます。

広沢：もちろん復元は復元でやっていきます。

文化庁の見解では復元とバリアフリーは必ずしも相反するものではないということと、あとは、やはりもう今のこの現在においてはやはりバリアフリーというのは欠かせない観点だとも言ってますのでここが折り合いをつけなければいけないと。

あと世界遺産になってもですねこれはある程度のバリアフリー、しかも今回私はあの江戸情緒を損なわないということは要は通常の導線からは、それがあまり目立って見えないところに置くとこれを前提としてましてですね、そういう状況であれば、それがそれがあるなしによって、例えばその復元が認められる認めないということはない。これちゃんと文化庁と確認をしながらやっていきますし、それがついてるからあの認められないってことはないはずですよ。

それが世界遺産レベルになっても、基本的には可逆性がありますので、まずければ取れる、もしくは新しい技術が出ればとれるという状況でもありますので、それをつけたからこんなもんついてるから認めないということは今の流れではないはずなんです。

発言者：ドレスデンで爆撃で破壊された街を50年かけて市民が街並みを整備して、世界遺産に認められたんですけども、今度そうすると交通渋滞が非常にひどくなってしまって、バイパスを通さざるをえなくなった。バイパスを通したら世界遺産を召し上げになってしまったということがありますので、やはりそういう何か新しい付加的な機能をつけるということが、世界遺産のその条件から外れる可能性というのは私はかなり高いのではないかと。

ですから世界遺産の条件というのは非常に厳密に調査してですね、それは間違いなく大丈夫だということがわかれば、私も付けるのはある程度やむを得ないかなと思うんですけど、それがなくなってしまうぐらいであればもうきっぱり入れなくても、とにかく完全に復元してエレベーターをつけないという方がよっぽどいいのではないかと。

広沢：完全復元を求める声があるのはもう重々承知してるんですけど、今現実的にはですね、全くバリアフリーなしで江戸の状態と同じってというのはこれなかなか難しいですね。文化庁からもちゃんとその辺は折り合いをつけてくださ

いというふうになっていますので、ここはねなかなかゼロでっていうわけにはなかなかいかない現状もありました。

あとは実際、姫路城とかでも徐々に変えてきてるんですね。

元のあれからすると基礎にはコンクリ入れていますし、おそらくそのうちには大改修のためにどんどんどんどん木材を入れ替えているので、これはもう 100 年 200 年たつとほぼ元の状態なんかあるかなしかわからないけれども、これ木の文化ってそういうもんだからとなのでそうなる次の大改修には小型昇降機つけようかというようなこともこれも入ってくる、こういう基準は徐々にこの世相で変わってくるので、少なくとも小型昇降機ぐらいでその基準を見直すっていうのは私はないと思ってます。

発言者：すみません、ぜひ調査してください。お願いします。

発言者：今日貴重なお話ありがとうございます。すごい勉強になりました。

ここの皆さんすごい名古屋文化を愛されているのがよくわかりました。小池と申します。

全然違うというのは、市長、先日インドに行かれたそうですね。

(はい行ってきました。バンガロール、今ベンガルールというそうですね)

インドのモディ首相こないだ日本にきまして、石破首相との間で 5 万人の何て言うんすか高度人材、私実はこの 20 年間ぐらい高度人材を名古屋に連れてきてるんですけど、皆、東京に移っちゃうんですね。自動車関連だったんで、トヨタだったらいいだろうと思って。

東京の方が住環境っていうか、学校がいいとか、だから神奈川県とか千葉県に近いところに移ってってるんですけども、今後思えば名古屋が先ほど見させていただいたように人口が減ってくるっていうこともあるし、ベンガルールって非常に IT が進んで高度産業があって非常に賢い人たちが多くて有望なところなので、ぜひ何らかの提携っていうか、姉妹都市とか、考えておられることを。

広沢：それをそれをまさに求めてこないだベンガルール行きて、ベンガルールは幸いどことも日本と姉妹都市提携をやってないので何らかそういう方向へ行きたいなど。

姉妹都市提携ができればいいですし、そうでなければ 1 個下のパートナー都市提携とかですね。

今名古屋でもあの TechGALA とかですねあとステーション AI もできましたし、そういうスタートアップ系のインキュベーター施設はいくつか作ってますので、スタートアップといえば名古屋っていうふうにできればしたい。そういう時に

ベンガルールと提携してるっていうのが一つの売りになるんじゃないのかなという観点でこないだ行ってきましてですね。

ただご指摘のようにインターナショナルスクールが少ないって。これいかんともしがたいところで、名古屋には守山の志段味に一つですね、あと江西という西区に一つあるんですけど、これもう東京に比べると明らかに見劣りがしてまして、東京都だとたくさんいろんなところにあるんですよ。

なのでここばかりは。ただなかなか市でインターナショナルスクールを作れるかっていうとそうもなかなかいかないので、何ともあれなんですけど、どなたかやっていただけないかなと願うぐらいでして、本当は南山学園とかあいうところがインターナショナルスクールを名古屋市内で作っていただけないんですけど、(そういう流れができないか、民間の力が要るのかな。よろしく願います。)

発言者：市長、どうもありがとうございます。あの春姫祭りですいつもお世話になりました。

ご支援いただいております、熱く御礼申し上げます。今日の鈴木さんから表札が足りないという観光的な意味合いのあれが少ない。

これね教育委員会さんの表札あるいはみがかボランティアさんもみえますので、ご苦労私もよく存じ上げてますけど、お金と土地の所有権が多いですね。そして去年ですか。尾張徳川さんの柳生さんのを観光ホテルの前のところに作っていただいたんで、ただ2年に1個ぐらいのペースかなとは思っていますけども、引き続きよろしく願います。

広沢：そんなにお金がかかる話じゃないのであれば、ちゃんと置ける場所があれば割と比較的そんなにハードルは高くないかなと思っています。

発言者：私も表札、教育委員会の表札の件はよく存じ上げてるんですけど、名古屋市16区では去年の4月1日現在で311件。そのうち中区にあるのが67件で16区のうちではダントツトップなんですよ。

ただダントツトップではあるけど、まだなくなっちゃったもしくは足りない部分がありますので、そういったものをいっぺんにたくさんできたらいいんですけど無理にしても毎年いくつか作っていただければ、それでいろんな有志の会場合に辻さんが声かけて、相当いろんな団体ですね。

ただ、お金がある団体はあんまりないと思いますんで、そちらは辻さんの縁で、あるかもしれませんけどもちょっと私の方もですね。

中区の春姫祭でお世話になっている本丸ネットワークという組織ですけども、

それ以外に中区のボランティアでガイドしてる本丸御殿マイスターの会のがありましたよね。

そちらのこないだから代表を務めさせていただいて、お役所さんってまだ市役所さんのご苦勞もだいぶ身に染みて分かってきました。引き続きよろしく願います。時間調整でいいです。

北見：市長ありがとうございました。贈呈があるんですよ。

仙石：仙石と申します。どうぞよろしく願います。

こちらの名古屋城という文字見ていただいて、あれどっかで見えたかなって思っていたことあるかもしれません。名古屋城正門のところにあります石碑ですね。

恩賜元離宮名古屋城と書いてある文字名古屋城の文字この4文字はそちらの石碑をイメージして書かせていただきました。どうぞよろしく願います。

仙石さんありがとうございますありがとうございます。